

あつぎ

農委だより

平成29年1月1日 第79号

編集・発行 厚木市農業委員会

〒243-8511 神奈川県厚木市中町3-17-17

TEL 046-225-2480 FAX 046-223-9530

e-mail 9600@city.atsugi.kanagawa.jp

www.city.atsugi.kanagawa.jp



昨年11月に開催された農業まつりでは、野菜の宝船が出展され、多くの来場者の関心を集めていました

年頭にあたって
新年のごあいさつ



厚木市農業委員会
会長 堀池 春夫

新年明けまして

おめでとーございませう

ご家族おそろいで新年をお迎えになられたこと、お喜び申し上げます。今年が輝かしい希望にあふれた年でありますよう心から願っております。

昨年は、農業委員会等に関する法律の改正により、農業委員は、これまでの公選制等に替わり、市長が議会の同意を得て任命する制度に変更されました。さらに、遊休農地の発生防止や担い手への農地の集積を進めるため、農地利用最適化推進委員が新たに設けられました。

本農業委員会では、昨年10月16日の任期満了に伴い、翌17日から農業委員13人、農地利用最適化推進委員14人の新体制でスタートし、改選後の臨時総会におきまして、私が会長を仰せつかることになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、今日の我が国の農業を取り巻く環境は、先行き不透明なTPP問題や農業後継者・担い手不足など、大変厳しい情勢下にあります。

こうした中、農業委員会の役割として、「農地等の利用の最適化の推進」が新たに加えられ、担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消の推進、新規参入の促進などへの取り組みが強く期待されています。

農地は、安心・安全で新鮮な農産物の供給源であるとともに、緑豊かな都市景観や多様な生き物が生息・生育する環境を保全し、また、豪雨などの際の貯水機能を有するなど、多面的な役割も果たしております。

そうした農地を守る立場からも、農業委員会では、毎年、農地利用状況調査（農地パトロール）を実施しています。

本年度は、7月から8月にかけて、農業委員が市内すべての農地について調査を実施しました。その結果、約49%の農地が耕作されていない遊休農地であることを把握しました。

農林水産省の調べによれば、平成28年の耕地面積は、前年より2万5千^{ヘクタール}減ったことが分かり、その内の6割を占めるのが遊休農地であり、特に中山間地域を中心に減少しているようです。本市でも、同様に農地の荒廃化と減少が進んでいる状況です。

こうした状況を受け、農業委員会、市、JAあつぎの三者が一体となって設置した厚木市都市農業支援センターを中心に、「厚木市耕作放棄地解消計画」に基づき、引き続き耕作放棄地の解消に努めてまいります。

私たち農業委員・農地利用最適化推進委員は、農業者の代表としての自覚と信念を持ち、皆さまの農業経営の向上が図られるよう、この1年、取り組んでまいります。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

主な内容

- 2面… ●あゆこちゃんにきてみよう (農地利用の最適化ってなあに)
- 農地パトロールを実施
- 農地の管理をしましょう
- 利用権設定で農地の貸し借りを
- 3面… ●農業まつり
- 栄えある会長賞受賞者の紹介
- 都市農業支援センター活動紹介
- 農業者年金新規加入者の声
- 新規就農者紹介
- JAあつぎから農業塾のご案内
- 4面… ●新たな委員の紹介

